

会 議 録

会議名 (審議会等名)		令和 6 年度第 3 回大野北公民館運営協議会		
事務局 (担当課)		大野北公民館 電話 0 4 2 - 7 5 5 - 6 6 0 1		
開催日時		令和 7 年 3 月 1 9 日 (水) 午後 7 時 0 0 分～9 時 0 0 分		
開催場所		大野北公民館 大会議室		
出席者	委 員	1 7 人 (別紙のとおり)		
	その他	2 人 (生涯学習課 鈴木総括副主幹、白戸主任)		
	事務局	4 人 (峰尾館長代理、古賀主事、角田主事、天野主事)		
公開の可否		☒ 可 ☐ 不可 ☐ 一部不可	傍聴者数	1 人
公開不可・一部 不可の場合は、 その理由				
会議次第		1 報 告 次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン (案) について 2 議 題 (1) 大野北公民館振興計画の改定について (2) 公民館の事業実施状況について (3) スポーツ推進委員の任期満了に伴う候補者の推薦結果について (4) 令和 6 年度公民館運営協議会補助金の決算見込について (5) 令和 7 年度大野北公民館事業計画 (案) について (6) その他		

協 議 経 過

主な内容は次のとおり。(○は委員の発言、●は事務局の発言、□はその他の発言)

1 報告

生涯学習課から、次世代に引き継ぐ淵野辺駅南口周辺のまちづくりプラン(案)について説明があった。

- 公民館は地域の施設だが、拠点館としての優先利用の考えは継続するのか。複合施設となり、今までと同じように利用できるのか不安である。
- 拠点館の考え方は、今までと同様となるよう検討している。なお、複合施設の貸室の想定利用率は54%程度と見込んでいるが、コロナ前の利用率が高かった頃の実績で試算した場合でも、70%程度であり、まだ余力があると考えている。
- 複合施設のコンセプトである「目的のある人もない人も、誰もが利用できる公園のような施設」というのが理解できない。「公園と一体となった施設」という表現がよいのではないか。
- コンセプトについては市だけで考えたものではなく、25回にわたる市民検討会が出た意見をまとめたものである。ご意見でいただいた「公園と一体となった」という点も重要で、公園と調和のとれた建物にしたいと考えている。なお、「公園のような」については、公民館活動や事業への参加というような目的がなくても、気軽に立ち寄れるような施設を目指すということである。

2 議題

(1) 大野北公民館振興計画の改定について

事務局から説明のあと質疑があった。

- 体系図に使用したアイコンだが、P4～5にもアイコンを使用した方がわかりやすいのではないかと考える。
- 文案については、基本的には小委員会で説明したものと変わらない。本協議会で特段の意見がなければ、明らかな誤字、脱字の類の修正は、事務局に一任していただけないか。特段の意見はなし。原案のとおり承認された。

(2) 公民館の事業実施状況について

令和6年12月から令和7年1月までに実施した事業について、事務局から報告を行った。

- 布えほんひろばは、図書館との連携事業で会場は図書館ということだが、公民館はどういう役割を担っているのか。
- 謝礼の支払いや物品の貸出、広報等を担当している。
- 第4回ファミリーバドミントン教室で、初参加の方が増えた理由は何か。

- 自治会対抗ファミリーバドミントン大会の直前の教室であったため、自治会を通じて案内していただけたことが大きい。
- 子どもまつりの事業評価シートの第2次評価の運営面の評価が低評価だが、青少年指導委員や応援スタッフが足りない問題は、運営協議会でも検討した方がよいのではないか。
- 多くの協力員の方にご協力いただいた。不都合が生じたのは、地域実習生との打合わせ不足で意思の疎通が図れなかった点がある。青少年指導委員の人手不足を打破すべく、「ゆめサポーター」という制度を取り入れることとした。単発でボランティアに来ていただき、青少年事業を知っていただくきっかけとしたい。皆さんのお知り合いで適任の方がいましたらお誘いいただきたい。
- ゆめサポーターは、どのように募集するのか。
- 3月15日号の館報に掲載したほか、4月1日号の地域情報紙に掲載予定で、今後積極的に周知していきたい。
- ファミリーバドミントン教室とサロンコンサートの評価が100点だが、満点の理由を伺いたい。
- 自治会を通じて周知していただいたこともあり、参加者が多かったこと、また大きなけがもなく、参加していただいた方全員が自治会対抗戦に出ていただいた。
- サロンコンサートは、チケットが完売で、内容も充実しており参加者の満足度も高い。実行委員の皆さんの努力に感謝したい。

(3) スポーツ推進委員の任期満了に伴う候補者の推薦結果について

6自治会から8名の候補者を選考し、市に推薦したことについて説明を行った。選考後、1名追加で自治会から推薦があったため、市へ追加推薦したことを説明した。

- スポーツ推進委員になる資格や条件はあるのか。
- 年齢要件はあるが、スポーツに対する理解と情熱を持っている方であれば、特別な資格は必要ない。

(4) 令和6年度公民館運営協議会補助金の決算見込について

事務局から説明を行い了承された。

- どういう目的に使うべきものなのか。以前は運営協議会で研修に行ったりしていた。ゆめ教室等の消耗品ということになると、本来は公民館の予算で支出するべきものではないか。
- 運営協議会の運営に要する経費ということで、従前はバスを借り上げて研修に行ったことは承知しているが、昨今補助金が減額されたり、バス代の値上げなどにより、なかなか研修を実施するのが難しくなっている。委託事業には充当できないが、専門部の活動に係る消耗品費等の経費に充てている。
- 公民館事業を行うのに予算が足りないのであれば、市に対して事業の予算を増やしてほ

しいと要望を上げるのも運営協議会の役割なのではないか。

- 過去の決算がわからないと、どの事業にどのくらいの予算が使われ、何が必要で何が足りないのかわからない。
- 運営協議会の補助金のほかに、公民館に市から予算は出ているのか。
- 講師謝礼や事業委託料、自主企画提案事業に係る経費などの予算がある。
- 公民館には予算がないと言っているが、予算についての金額などの情報がないと、どれくらい足りないのかわからない。
- ことぶき学級で市から 80,000 円委託料が支給されているが、市のお金の使い道は項目や基準が決まっていて厳しい。運営協議会の補助金についても使い道が決まっているのではないか。
- 公民館の事業について協議するにあたって、経費についても関わってくる。予算や、使い方についても運営協議会で検討していった方がよいのではないか。
- 次年度から一考してもらえないか。
- 昨年度も同様の議論があった。3 月議会で予算が承認されたあとの今年度の第 1 回目の運営協議会で、今年度の大野北公民館に係る予算をお示ししている。次回も同じようにお示ししたいと考えている。

(5) 令和 7 年度大野北公民館事業計画（案）について

学習・文化事業、体育事業、青少年事業等について説明を行い了承された。

- ニュースポーツ教室というのが入っているが、ファミリーバドミントンがなくなってニュースポーツになったのか。
- 今年度まではファミリーバドミントン教室としていたが、市として今後、モルックやボッチャも取り入れるという方針になり、それに合わせてファミリーバドミントンに加えて新しいスポーツを取り入れていくということである。
- 健康まつりでモルックを実施した。ニュースポーツは広がりを見せている。
振興計画には、今日的課題として ICT、防災などの記載があるが、いずれもイニシャルコストがかかる。財源が伴っているのか、続けられるのかどうか危惧している。
- 振興計画は 4 月からスタートすると思うが、せつかく重点目標とした 6 項目を事業計画にどう盛り込むのか、今後のことを考えていきたい。

(6) その他

岡本委員が市公民館連絡協議会功労者表彰を受賞されたことについて報告した。

市立図書館と淵野辺小 6 年 3 組の共催事業である地元カタン体験会について、情報提供した。

以 上

大野北公民館運営協議会委員出欠席名簿

氏 名	選 出 母 体	備考	出欠席
小川 紳夫	公民館長	会 長	出席
大内 眞理子	大野北小学校長		出席
古屋 礼史	大野北中学校長		出席
山口 信郎	大野北地区自治会連合会	副会長	出席
林 知治	大野北地区自治会連合会		欠席
岡本 誠	大野北地区自治会連合会		出席
森光 雄一郎	大野北青少年健全育成協議会		欠席
宮津 敏信	大野北地区老人クラブ連合会		出席
佐藤 幸一	にこにこ星ふちのべ商店会		出席
亀川 美里	PTA 大野北ブロック（共和小学校 P T A）		欠席
柿沼 秀康	大野北地区社会福祉協議会		欠席
望月 規男	地区民生委員児童委員協議会		欠席
緒方 祐美	大野北公民館利用サークル		出席
今 美和子	大野北公民館利用サークル		出席
金田 輝義	大野北公民館利用サークル		出席
坂口 芳郎	社会教育有識者		出席
河本 耕生	社会教育有識者		出席
猪口 敦子	公募		出席
柴田 孝子	公募		出席
清水 博登	公募		出席
稲富 義彦	青少年指導委員大野北地区協議会		出席
長田 文成	スポーツ推進委員大野北地区協議会		出席
市橋 まゆみ	広報部会		欠席